

平成20年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象 病院経営本部

2 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成21年6月2日から同年8月28日まで

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

平成20年度の病院事業は、普通病院7、小児病院2、精神科病院2の計11病院において、病床数5,375床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で166万4,608人、外来で197万3,642人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では3万3,923人、外来では4万7,911人それぞれ減少している。

収支状況は、総収益1,370億余円に対し、総費用1,354億余円であり、差引き16億余円の純利益となっている。

財政状況は、資産2,463億余円、負債400億余円及び資本2,063億余円となっている。

当年度の経営状況は、16億余円の純利益を生じ、前年度に繰越欠損金が解消されていることから、未処分利益剰余金は、当年度の純利益と同額となっている。

しかしながら、当年度は16億余円の純利益を計上してはいるが、その主な要因は、一般会計からの補助金等が増加したことによるものである。医業損益ベースでは、入院患者数及び外来患者数の減少傾向が続いていることなどから、医業費用が医業収益を上回る状態(225億余円の医業損失)が継続し、前年度に比べ約4億円損失が拡大しており、経営面では、依然として厳しい状況にある。このため、より一層の経営努力が必要である。

3 指摘事項

(1) 決算に関するもの

ア 固定資産の管理に係る規定を適切に整備し、資産価額を正確に計上すべきもの

昭和49年9月10日付49衛病管第653号決定「東京都病院事業固定資産（器械及び備品）管理要綱」第9条第2項及び第15条によれば、病院は、固定資産台帳及び固定資産共用票（以下「固定資産台帳等」という。）と現品が一致するように努めなければならないとしている。

ところで、駒込病院において、固定資産台帳から36件を抽出して現品の確認を行ったところ、表1のとおり、現品が存在しないものが22件（パーソナルコンピュータ、製図器等の事務用品）認められた。

そのため、有形固定資産の価額（帳簿価額）が、78万657円過大に計上されている。

これは、以下の原因によるものと考えられる。

固定資産台帳等と現品の一致を確かめる調査（実地棚卸）を行うための具体的な規定がなく、規則的かつ網羅的な調査が実施されていない。

固定資産を除却する際、東京都病院財務規則第94条によると、病院は振替決定票を発行しなければならないとしている。ところが、資産の配置先から除却にかかる報告が行われない等の理由により、この経理手続が正確に実施されていない。

本部は、固定資産の管理に係る規定を適切に整備し、資産価額を正確に計上されたい。

(表1) 固定資産台帳等に記載されているが現品が存在しないもの(駒込病院) (単位:円)

品名	取得 年月日	帳簿 原価 (A)	減価償却 累計額 (B)	帳簿 価額 (A - B)
ビデオ装置	昭61. 3.31	230,000	218,500	11,500
温風暖房機	昭58.12.27	194,500	184,775	9,725
電気冷蔵庫	昭57. 3.15	465,000	441,750	23,250
雑誌台	昭50. 2.21	150,000	142,500	7,500
植木台(2台)	昭50. 2.21	155,000	147,250	7,750
	昭50. 2.21	155,000	147,250	7,750
英文タイプライター (4台)	昭57. 6.15	1,260,940	1,197,893	63,047
	昭60. 9. 9	275,000	261,250	13,750
	昭60. 9. 9	275,000	261,250	13,750
	平元. 5.22	233,000	221,350	11,650
和文タイプライター	昭61. 3.14	150,000	142,500	7,500
製図器(6台)	昭61. 3.12	127,000	120,650	6,350
	昭62. 3.10	132,000	125,400	6,600
	平2. 8. 6	2,830,000	2,688,500	141,500
	平3.10.31	363,000	344,850	18,150
	平5. 2.26	770,000	731,500	38,500
	平7. 1.27	966,700	918,365	48,335
カード刻字機	昭60. 9. 3	5,350,000	5,082,500	267,500
パーソナルコンピュ ータ(3台)	平13. 3.21	227,000	215,650	11,350
	平13. 3.21	227,000	215,650	11,350
	平13. 3.21	227,000	215,650	11,350
オーバーヘッドプロ ジェクター	昭59. 3.31	850,000	807,500	42,500
合計		15,613,140	14,832,483	780,657

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 業務実績について

ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表2のとおり、166万4,608人であり、前年度(169万8,531人)と比較して3万3,923人(2.0%)減少している。

これは主に、松沢病院において、急性期精神医療を中心とした精神医療センター(仮称)開設に向けて病棟の改修等を行っているため、病床数が減少(114床)したことなどによるものである。

(表2) 入院患者の実績比較表

(単位:床、人、%)

区分	平成20年度			平成19年度			対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ(A)	病床数	一日当り	年延べ(B)	病床数	一日当り	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	3,911	3,447	1,257,989	3,923	3,454	1,264,289	12	7	6,300	0.5
広尾	476	422	154,067	476	429	157,192	0	7	3,125	2.0
大塚	500	415	151,549	500	428	156,535	0	13	4,986	3.2
駒込	801	704	257,025	801	699	255,866	0	5	1,159	0.5
豊島	348	288	105,095	360	282	103,140	12	6	1,955	1.9
墨東	729	645	235,224	729	653	238,984	0	8	3,760	1.6
府中	761	696	253,935	761	695	254,629	0	1	694	0.3
神経	296	277	101,094	296	268	97,943	0	9	3,151	3.2
小児病院	345	246	89,714	345	251	91,849	0	5	2,135	2.3
清瀬	255	180	65,599	255	182	66,771	0	2	1,172	1.8
八王子	90	66	24,115	90	69	25,078	0	3	963	3.8
精神科病院	1,119	868	316,905	1,233	936	342,393	114	68	25,488	7.4
松沢	877	694	253,114	991	743	272,040	114	49	18,926	7.0
梅ヶ丘	242	174	63,791	242	193	70,353	0	19	6,562	9.3
合計	5,375	4,561	1,664,608	5,501	4,641	1,698,531	126	80	33,923	2.0

(注) 病床数は、予算定床数である。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表3のとおりである。病床数は、前年度に比較して全体で126床の減少となっている。これは、松沢病院で3病棟を閉鎖したことなどによるものである。病床利用率は、84.8%となっている。

(表3) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成20年度				平成19年度				対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率
普通病床	4,067	3,591	1,310,735	88.3	4,079	3,601	1,318,005	88.3	12	10	7,270	0
精神病床	1,182	935	341,288	79.1	1,296	1,007	368,461	77.7	114	72	27,173	1.4
結核病床	86	33	12,115	38.6	86	32	11,812	37.5	0	1	303	1.1
感染症病床	40	2	470	3.2	40	1	253	1.7	0	1	217	1.5
合 計	5,375	4,561	1,664,608	84.8	5,501	4,641	1,698,531	84.4	126	80	33,923	0.4

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

3 精神病床は広尾・豊島・墨東・府中・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は駒込・豊島・墨東の各病院に設置している。

イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表4のとおり、197万3,642人であり、前年度(202万1,553人)と比較して4万7,911人(2.4%)減少している。これは、薬の処方期間延長に伴う再診患者数の減少や、医師の欠員等による受入患者数の減少などによるものである。

(表4) 外来患者の実績比較表

(単位：人、%)

区 分	平成20年度		平成19年度		対前年度比較(増減)		
	一日当り	年延べ(A)	一日当り	年延べ(B)	一日当り	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	5,907	1,730,754	6,005	1,765,437	98	34,683	2.0
広尾	748	219,194	782	229,881	34	10,687	4.6
大塚	787	230,640	809	237,963	22	7,323	3.1
駒込	1,194	349,897	1,210	355,677	16	5,780	1.6
豊島	479	140,179	459	135,070	20	5,109	3.8
墨東	1,147	336,142	1,195	351,220	48	15,078	4.3
府中	1,531	448,604	1,531	449,945	0	1,341	0.3
神経	21	6,098	19	5,681	2	417	7.3
小児病院	347	101,705	371	108,998	24	7,293	6.7
清瀬	268	78,616	282	82,913	14	4,297	5.2
八王子	79	23,089	89	26,085	10	2,996	11.5
精神科病院	482	141,183	500	147,118	18	5,935	4.0
松沢	335	98,232	362	106,456	27	8,224	7.7
梅ヶ丘	147	42,951	138	40,662	9	2,289	5.6
合 計	6,736	1,973,642	6,876	2,021,553	140	47,911	2.4

(2) 経営成績について

平成20年度における経営成績は、表5（詳細は、別表1比較損益計算書）のとおり、医業損失は、225億余円であり、前年度（221億余円）と比較して、3億余円（1.8%）増加している。経常損益は、16億余円の利益であり、前年度（3億余円の損失）と比較して、19億余円（596.1%）改善している。

純利益は、16億余円となっており、前年度（105億余円）と比較して、89億余円（84.7%）減少している。

(表5) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増 () 減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医 業 収 益	107,003	104,958	2,045	1.9
医 業 費 用	129,534	127,097	2,437	1.9
医 業 損 失	22,530	22,138	392	1.8
医 業 外 収 益	30,075	28,087	1,987	7.1
医 業 外 費 用	5,926	6,275	348	5.6
経 常 損 () 益	1,618	326	1,944	596.1
特 別 利 益	0	10,992	10,992	100
特 別 損 失	0	115	115	100
純 利 益	1,618	10,550	8,932	84.7

ア 収益について

総収益は、表6のとおり、1,370億余円であり、前年度（1,440億余円）と比較して、69億余円（4.8%）減少している。

これは主に、前年度には特別利益が109億余円（荏原病院の土地を一般会計に有償所属換したことに伴う土地売却益の残額を、平成19年度に特別利益へ振り替えたことにより生じたもの）あったが、当年度は特別利益がなかったことによるものである。

医業収益は1,070億余円であり、前年度（1,049億余円）と比較して、20億余円（1.9%）増加している。

これは主に、一般会計負担金が8億余円、入院収益が6億余円、それぞれ増加したことによるものである。一般会計負担金の増加は、救急医療経費が6億余円増加したことなどによるものである。

医業外収益は300億余円であり、前年度(280億余円)と比較して、19億余円(7.1%)増加している。

これは主に、一般会計補助金が18億余円増加したことによるものである。一般会計補助金の増加は、がん医療などの高度医療経費が9億余円、周産期医療などの特殊医療経費が8億余円それぞれ増加したことなどによるものである。

(表6) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増()減	
			金 額	率
			(C)=(A)-(B)	(C)/(B)×100
医業収益	107,003	104,958	2,045	1.9
入院収益	64,490	63,845	644	1.0
外来収益	23,223	22,672	551	2.4
一般会計負担金	17,648	16,792	855	5.1
その他医業収益	1,642	1,648	6	0.4
医業外収益	30,075	28,087	1,987	7.1
受取利息及配当金	3,072	3,079	7	0.2
一般会計負担金	1,526	1,626	100	6.2
一般会計補助金	22,590	20,723	1,866	9.0
国庫補助金	234	222	11	5.0
その他医業外収益	2,652	2,434	217	8.9
特別利益	0	10,992	10,992	100
総収益	137,079	144,038	6,959	4.8

一般会計からの繰入金は表7のとおり417億余円であり、前年度(391億余円)と比較して、26億余円増加している。

(表7) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成20年度	平成19年度	増()減
一般会計負担金	19,174	18,419	755
医業収益	17,648	16,792	855
救急医療経費	6,866	6,261	604
精神科病院運営経費	6,775	6,698	77
小児医療経費	1,990	1,793	197
保健衛生行政経費	2,015	2,038	23
医業外収益	1,526	1,626	100
建設又は改良に要する経費	1,526	1,626	100
一般会計補助金	22,590	20,723	1,866
医業外収益	22,590	20,723	1,866
高度医療経費	10,381	9,428	952
特殊医療経費	11,285	10,428	856
建設又は改良に要する経費	923	866	57
合 計	41,765	39,143	2,622

イ 費用について

総費用は、表8のとおり、1,354億余円であり、前年度(1,334億余円)と比較して19億余円(1.5%)増加している。

医業費用は、1,295億余円であり、前年度(1,270億余円)と比較して、24億余円(1.9%)増加している。これは主に、原油高騰による電気、ガス料金の値上げに伴う光熱水費の増加などにより経費が11億余円、職員手当の増加などにより給与費が7億余円増加したことによるものである。

医業外費用は、59億余円であり、前年度(62億余円)と比較して、3億余円(5.6%)減少している。これは主に、雑支出が3億余円減少したことによるものである。

なお、給与費・職員数等については表9のとおりとなっている。

(表8) 費用比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増()減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用	129,534	127,097	2,437	1.9
給与費	69,376	68,654	721	1.1
材料費	26,873	26,539	333	1.3
経費	21,726	20,567	1,158	5.6
減価償却費	10,499	10,414	84	0.8
資産減耗費	171	96	74	77.0
研究研修費	888	824	64	7.8
医業外費用	5,926	6,275	348	5.6
支払利息及企業債取扱諸費	2,445	2,492	46	1.9
繰延勘定償却	492	479	13	2.8
雑支出	2,988	3,303	315	9.6
特別損失	0	115	115	100
総費用	135,461	133,488	1,973	1.5

(表9) 給与費明細比較表

(単位：百万円)

区 分	平成20年度	平成19年度	増()減
給料	25,467	25,668	201
職員手当	24,859	23,571	1,287
法定福利費	8,489	8,699	209
計	58,816	57,939	877
職員数	6,263人	6,231人	32人
平均年齢	40歳7月	40歳4月	0歳3月
職員1人当たり給与費	7,921千円	7,820千円	101千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者(平成20年度88人、平成19年度28人)を含む。

2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

3 職員は、すべて損益勘定部門に所属している。

事業の収益性を示す経営指標は、表10のとおりである。特別利益がなかったことにより、総費用対総収益比率が前年度より悪化している。その他の指標は、前年度とほぼ同様となっている。

(表10) 経営比率の推移

(単位：%)

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	算式
経営資本 営業利益率	12.1	11.5	13.5	14.0	12.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	19.7	18.4	20.5	21.1	21.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	99.9	101.5	100.0	92.7	98.8	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	71.7	73.0	70.9	70.4	70.4	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

(注) 1 経営資本 = 総資本 - (建設仮勘定 + 投資 + 繰延勘定)

2 自己収支比率 = 病院事業収益 (一般会計繰入金及び特別利益を除く。) ÷ 病院事業費用 (特別損失を除く。)

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表11のとおりである。

資本的収入は314億余円であり、前年度(110億余円)と比較して、203億余円(184.5%)増加している。

これは主に、固定資産売却収入が32億余円(100%)減少したものの、企業債が202億余円(355.0%)、一般会計出資金が50億円(前年度は計上なし)増加したことによるものである。

資本的支出は375億余円であり、前年度(179億余円)と比較して、196億余円(109.5%)増加している。

これは、企業債償還金が16億余円(23.2%)減少したものの、建設改良費が213億余円(200.2%)増加したことによるものである。

資金収支の状況は、表12のとおり、差引額は61億余円の財源不足となっている。これを損益勘定留保資金等で補った結果、全体としては75億余円の財源余剰となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表13のとおりである。

(表11) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増()減		
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100	
資 本 的 入	企業債	25,954	5,704	20,250	355.0
	一般会計出資金	5,000	0	5,000	-
	国庫補助金	468	143	325	227.2
	固定資産売却収入	0	3,268	3,268	100
	その他資本収入	2	1,929	1,927	99.9
	計	31,425	11,044	20,380	184.5
資 本 的 出	建設改良費	31,946	10,640	21,306	200.2
	企業債償還金	5,593	7,280	1,687	23.2
	計	37,540	17,921	19,619	109.5
差引資本的収支	6,115	6,876	761	11.1	

(表12) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出(A)	37,540	資本的収入(B)	31,425
		資本的収支資金不足額 (C)=(A)-(B)	6,115
		当期純利益	1,618
		年賦未収金受払	3,657
		不動産信託受益権	2,915
		損益勘定留保資金	11,160
		(減価償却費)	10,499
		(繰延勘定償却)	492
		(企業債発行差金)	21
		(固定資産除却費等)	147
		消費税資本的収支調整額	119
		計(D)	13,639
収益的収支の資金剰余額 (E)=(D)	13,639		
当年度資金剰余額 (F)=(E)-(C)	7,524		
合計(A)+(F)	45,064	合計(B)+(D)	45,064

(表13) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
流動資産 (A)	34,022	36,520	40,063	45,433	73,605
流動負債 (B)	15,445	13,799	15,233	19,353	40,000
年度末資金残高 (A - B)	18,577	22,721	24,830	26,079	33,604

(2) 資産、負債及び資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表 2 比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、2,463 億余円で、前年度 (1,982 億余円) と比較して、481 億余円 (24.3%) 増加している。

これは、流動資産が 281 億余円、固定資産が 190 億余円、それぞれ増加したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、現金預金が 222 億余円、未収金が 58 億余円増加したことによるものである。

固定資産の増加は、主に、荏原病院の土地売却にかかる年賦未収金の減少等により投資が 21 億余円減少したものの、多摩総合医療センター等の工事進捗に伴う建設仮勘定の増加等により有形固定資産が 212 億余円増加したことによるものである。

負債総額は 400 億余円であり、前年度 (193 億余円) と比較して、206 億余円 (106.7%) 増加している。

これは主に、多摩総合医療センター等建設工事に伴い未払金が 206 億余円増加したことによるものである。

資本総額は 2,063 億余円であり、前年度 (1,789 億余円) と比較して、274 億余円 (15.4%) 増加している。

これは、当年度末処分利益剰余金が 31 億余円減少したものの、企業債の発行に伴い借入資本金が増加したこと等により資本金が 301 億余円増加したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表 14 のとおりであり、有利子負債は 203 億余円増加している。

(表 1 4) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成20年度末 残高(A)	平成19年度		平成19年度 末残高(B)	増()減 (A) - (B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	108,537	25,976	5,593	88,155	20,382
区 分		平成20年度支払額(C)		平成19年度支払額(D)		増()減 (C) (D)
支払利息等	支払利息及企業 債取扱諸費	2,424		2,490		66

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表15のとおりである。

流動資産の増加率(62.0%)よりも流動負債の増加率(106.7%)が大きかったことから、流動比率は低下している。

また、多摩総合医療センター等建設工事に伴う企業債の発行により借入資本金が増加していることから、固定長期適合率は前年度より向上している一方、自己資本構成比率は低下している。

(表15) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	算 式
流動比率	220.3	264.7	263.0	234.8	184.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	35.2	37.7	40.8	45.8	39.7	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	88.0	85.9	84.3	83.4	81.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金(自己資本金 + 借入資本金) + 剰余金 + 固定負債

3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表16のとおり、予算額33.1億余円に対し、決算額31.9億余円であり、執行率96.5%となっている。

(表16) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	執行率(B)/(A) × 100	不用額(A) - (B)
建設改良工事	29,318	28,364	96.7	953
器械及備品	3,801	3,582	94.2	218
計	33,119	31,946	96.5	1,172

(1) 建設改良工事について

建設改良工事は、予算額 2 9 3 億余円に対し、決算額 2 8 3 億余円であり、執行率は 9 6 . 7 % となっている。

工事の主なものは、多摩メディカル・キャンパス(仮称)の整備(2 3 3 億余円)、がん・感染症医療センター(仮称)の整備(2 5 億余円)、精神医療センター(仮称)の整備(4 億余円)である。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額 3 8 億余円に対し、決算額 3 5 億余円であり、執行率は 9 4 . 2 % となっている。

整備購入した医療器械の主なものは、駒込病院の高エネルギー放射線治療システム(3 億余円)である。

(別表1) 比較損益計算書

(単位:円、%)

科 目	平成20年度	平成19年度	増 () 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
医業収益	107,003,963,385	104,958,792,189	2,045,171,196	1.9
入院収益	64,490,296,749	63,845,533,101	644,763,648	1.0
外来収益	23,223,433,405	22,672,211,147	551,222,258	2.4
一般会計負担金	17,648,000,000	16,792,519,000	855,481,000	5.1
その他医業収益	1,642,233,231	1,648,528,941	6,295,710	0.4
医業費用	129,534,828,497	127,097,218,805	2,437,609,692	1.9
給与費	69,376,524,787	68,654,840,125	721,684,662	1.1
材料費	26,873,550,694	26,539,951,126	333,599,568	1.3
経費	21,726,125,044	20,567,197,590	1,158,927,454	5.6
減価償却費	10,499,087,213	10,414,491,143	84,596,070	0.8
資産減耗費	171,163,380	96,702,786	74,460,594	77.0
研究研修費	888,377,379	824,036,035	64,341,344	7.8
医業損失	22,530,865,112	22,138,426,616	392,438,496	1.8
医業外収益	30,075,533,298	28,087,665,935	1,987,867,363	7.1
受取利息及配当金	3,072,085,104	3,079,280,795	7,195,691	0.2
一般会計負担金	1,526,665,000	1,626,815,000	100,150,000	6.2
一般会計補助金	22,590,562,000	20,723,666,000	1,866,896,000	9.0
国庫補助金	234,123,150	222,985,000	11,138,150	5.0
その他医業外収益	2,652,098,044	2,434,919,140	217,178,904	8.9
医業外費用	5,926,658,935	6,275,398,826	348,739,891	5.6
支払利息及企業債取扱諸費	2,445,931,402	2,492,287,807	46,356,405	1.9
繰延勘定償却	492,639,787	479,410,808	13,228,979	2.8
雑支出	2,988,087,746	3,303,700,211	315,612,465	9.6
経常損 () 益	1,618,009,251	326,159,507	1,944,168,758	596.1
特別利益	0	10,992,095,508	10,992,095,508	100
特別損失	0	115,387,300	115,387,300	100
当年度純利益	1,618,009,251	10,550,548,701	8,932,539,450	84.7
前年度繰越利益剰余金	0	5,827,927,535	5,827,927,535	100
当年度未処分利益剰余金	1,618,009,251	4,722,621,166	3,104,611,915	65.7

(別表2)比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成20年度		平成19年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
固定資産	168,331,378,148	68.3	149,273,935,067	75.3	19,057,443,081	12.8
有形固定資産	142,082,307,226	57.7	120,798,749,169	60.9	21,283,558,057	17.6
土地	1,735,787,169	0.7	1,735,787,169	0.9	0	0
立木	228,271,369	0.1	228,350,119	0.1	78,750	0.0
建物	184,647,685,620	74.9	183,811,289,501	92.7	836,396,119	0.5
建物減価償却累計額	99,669,059,234	40.5	94,894,233,028	47.9	4,774,826,206	5.0
構築物	8,453,736,328	3.4	8,406,027,740	4.2	47,708,588	0.6
構築物減価償却累計額	5,504,149,550	2.2	5,265,963,918	2.7	238,185,632	4.5
器械及備品	64,241,674,285	26.1	62,879,667,127	31.7	1,362,007,158	2.2
器械及備品減価償却累計額	46,842,856,150	19.0	45,154,602,247	22.8	1,688,253,903	3.7
車両	74,330,500	0.0	76,095,500	0.0	1,765,000	2.3
車両減価償却累計額	53,143,510	0.0	50,143,690	0.0	2,999,820	6.0
建設仮勘定	34,770,030,399	14.1	9,026,474,896	4.6	25,743,555,503	285.2
無形固定資産	961,974,117	0.4	1,081,284,360	0.5	119,310,243	11.0
無形固定資産	678,974,117	0.3	1,081,284,360	0.5	402,310,243	37.2
ソフトウェア仮勘定	283,000,000	0.1	0	0	283,000,000	-
投資	25,287,096,805	10.3	27,393,901,538	13.8	2,106,804,733	7.7
年賦未収金	6,942,871,104	2.8	10,600,068,614	5.3	3,657,197,510	34.5
不動産信託受益権	38,747,951,776	15.7	35,832,303,807	18.1	2,915,647,969	8.1
不動産信託仮勘定	20,451,678,075	8.3	19,068,448,883	9.6	1,383,229,192	7.3
その他投資	47,952,000	0.0	29,978,000	0.0	17,974,000	60.0
流動資産	73,605,070,833	29.9	45,433,531,783	22.9	28,171,539,050	62.0
現金預金	49,454,321,195	20.1	27,223,462,397	13.7	22,230,858,798	81.7
現金	50,950,545	0.0	72,268,436	0.0	21,317,891	29.5
預金	49,403,370,650	20.1	27,151,193,961	13.7	22,252,176,689	82.0
未収金	23,362,145,564	9.5	17,516,540,579	8.8	5,845,604,985	33.4
医業未収金	17,589,075,942	7.1	16,914,588,056	8.5	674,487,886	4.0
医業外未収金	678,203,475	0.3	225,096,083	0.1	453,107,392	201.3
未収消費税及地方消費税還付金	79,724,800	0.0	73,635,300	0.0	6,089,500	8.3
その他未収金	5,015,141,347	2.0	303,221,140	0.2	4,711,920,207	-
貯蔵品	787,334,875	0.3	692,847,127	0.3	94,487,748	13.6
材料	765,631,302	0.3	670,595,203	0.3	95,036,099	14.2
その他貯蔵品	21,703,573	0.0	22,251,924	0.0	548,351	2.5
その他流動資産	1,269,199	0.0	681,680	0.0	587,519	86.2
前払金	1,269,199	0.0	681,680	0.0	587,519	86.2
繰延勘定	4,449,308,744	1.8	3,559,788,826	1.8	889,519,918	25.0
控除対象外消費税額	4,449,308,744	1.8	3,559,788,826	1.8	889,519,918	25.0
控除対象外消費税額	4,449,308,744	1.8	3,559,788,826	1.8	889,519,918	25.0
資産合計	246,385,757,725	100	198,267,255,676	100	48,118,502,049	24.3

(単位:円、%)

科 目	平成20年度		平成19年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
流動負債	40,000,994,973	16.2	19,353,947,137	9.8	20,647,047,836	106.7
未払金	40,000,033,537	16.2	19,353,405,859	9.8	20,646,627,678	106.7
医業未払金	9,987,812,886	4.1	10,128,085,887	5.1	140,273,001	1.4
建設改良未払金	28,555,524,367	11.6	7,724,853,795	3.9	20,830,670,572	269.7
貯蔵品購入未払金	1,414,778,454	0.6	1,443,222,415	0.7	28,443,961	2.0
過誤納還付金	16,263,886	0.0	3,096,590	0.0	13,167,296	425.2
その他未払金	25,653,944	0.0	54,147,172	0.0	28,493,228	52.6
その他流動負債	961,436	0.0	541,278	0.0	420,158	77.6
預り金	950,936	0.0	529,678	0.0	421,258	79.5
その他流動負債	10,500	0.0	11,600	0.0	1,100	9.5
負債合計	40,000,994,973	16.2	19,353,947,137	9.8	20,647,047,836	106.7
資本金	198,136,699,623	80.4	168,031,931,151	84.8	30,104,768,472	17.9
自己資本金	89,599,084,043	36.4	79,876,462,877	40.3	9,722,621,166	12.2
借入資本金	108,537,615,580	44.1	88,155,468,274	44.5	20,382,147,306	23.1
企業債	108,537,615,580	44.1	88,155,468,274	44.5	20,382,147,306	23.1
剰余金	8,248,063,129	3.3	10,881,377,388	5.5	2,633,314,259	24.2
資本剰余金	6,630,053,878	2.7	6,158,756,222	3.1	471,297,656	7.7
受贈財産評価額	2,825,205,254	1.1	2,822,586,736	1.4	2,618,518	0.1
国庫補助金	3,549,274,799	1.4	3,082,844,577	1.6	466,430,222	15.1
その他資本剰余金	255,573,825	0.1	253,324,909	0.1	2,248,916	0.9
利益剰余金	1,618,009,251	0.7	4,722,621,166	2.4	3,104,611,915	65.7
当年度未処分利益剰余金	1,618,009,251	0.7	4,722,621,166	2.4	3,104,611,915	65.7
資本合計	206,384,762,752	83.8	178,913,308,539	90.2	27,471,454,213	15.4
負債・資本合計	246,385,757,725	100	198,267,255,676	100	48,118,502,049	24.3